



ようらん 揺籃

揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。



平成二九年度
長野西中条校
第九期生
入学式

<副校長式辞より 一部抜粋>

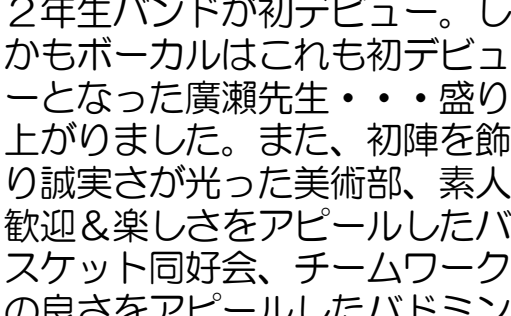
まもなくここ中条の地も桜の開花を迎えます。一つ質問をしたいと思います。皆さんは一本だけで咲いている桜の木とたくさんの木が集団となって咲く桜の木では、どちらが好きでしょうか。一本だけで咲く桜の木には、たくましさや力強さ、または何か情緒を感じます。ひとりだけで精いっぱい花を咲かせる素晴らしい姿に重なります。では、たくさんの木が重なり合って咲く桜はどうでしょうか。枝を寄せ合い、隙間なく咲く桜の花は見事で美しく、圧倒される感動を覚えます。私は、学校というのは、このたくさんの木が重なり合って集団で咲く桜のように思います。太い幹の桜の木もあれば、幹の細い木もある。高く伸びた桜の木もあれば、横に低く伸びた桜の木もある。一本一本は違っただけけれども、何本も集まることによって、一本では出せなかった力を発揮することができる。お互いの違いを大事にしなが、一本の木では表現できないことが集団となったことによって表現できる。そして、一団となって咲くことができる喜びを味わうことができる。それが、学校が存在する理由だと思っています。



◆対面式 ～4月13日(木) LHR(学活)の時間に新入生を迎える対面式が生徒会主催で行われました～



生徒会長の村上さんの挨拶から始まった対面式。映像による中条校の紹介、各委員会活動の説明、クラブ活動についての説明・・・1時間の中で新入生にわかりやすく説明が行われました。いちばん盛り上がったのは今年もクラブ紹介の時間。軽音楽同好会では、



2年生バンドが初デビュー。しかもボーカルはこれも初デビューとなった廣瀬先生・・・盛り上がりました。また、初陣を飾り誠実さが光った美術部、素人歓迎&楽しさをアピールしたバスケット同好会、チームワークの良さをアピールしたバドミントン同好会、スピードガンを用いて実演披露とクイズを行った野



球部、顧問の先生が1年生の入部を心待ちにしている卓球部など、どのクラブも1年生に楽しんでもらいたいという気持ちがよくわかる発表でした。中条校のアウトホームな雰囲気味わえた時間でした。

